

CONTENTS

- 第66回通常総会 1
- 全国水土里ネット第65回通常総会 4
- 令和4年度 第4回理事会及び第5回監事会 5
- 会計相談会のお知らせ 5
- 令和4年度 換地計画実務研修会 6
- 関東農地集団化推進協議会第70回通常総会 6
- 天水利用の農業システムが日本農業遺産に認定 7
- 埼玉県農村整備課関係人事異動 8
- 本会組織図及び職員配置図 9
- 新規職員の紹介 11
- 金利改定 11
- 第45回 全国土地改良大会福井大会 12
- 連合会日誌 12
- 第11回 彩の国 農業・農村景観フォトコンテスト 13

埼玉の土地改良

仲春の田んぼ道（さいたま市）



第 66 回 通 常 総 会

埼玉県土地改良事業団体連合会（会長 三ツ林裕己会長）の第66回通常総会は、去る3月20日（月）鴻巣市「鴻巣市文化センター クレアこうのす」において開催された。なお、開催に際しては新型コロナウイルス感染症対策として、鴻巣市の利用ガイドラインに沿った感染拡大防止対策を講じた。

坪井副会長の開会の辞に始まり、三ツ林会長の挨拶（別記）、続いて来賓の関東農政局信夫局長、埼玉県農林部小畑部長より祝辞をいただいた。

来賓の方々の紹介の後に、二階俊博全国土地改良事業団体連合会会長、中屋敷慎一県議会議長、衆議院野中厚議員、進藤金日子全国土地改良事業団体連合会会長会議顧問、宮崎雅夫全国土地改良事業団体連合会会長会議顧問皆様からの祝電を披露し、表彰式に入った。

表彰式では、土地改良事業功労者表彰状（21名）、土地改良事業功労感謝状（13名）、土地改良事業推進協力感謝状（7名）が贈呈された（別記）。

議事は、議長に山崎好典中里用水土地改良区理事長が選任され、令和3年度事業報告及び収支決算、令和4年度収支補正予算、埼玉県土地改良事業団体連合会定款の一部改正、令和5年度事業計画及び収支予算、同経費の賦課及び徴収方法並びに受託料の基準、同役員報酬、同一時借入金の限度額及び借入方法並びに余裕金、積立金の預入先、役員の補欠選任の8議案を審議し、原案のとおり全会一致で承認可決された。

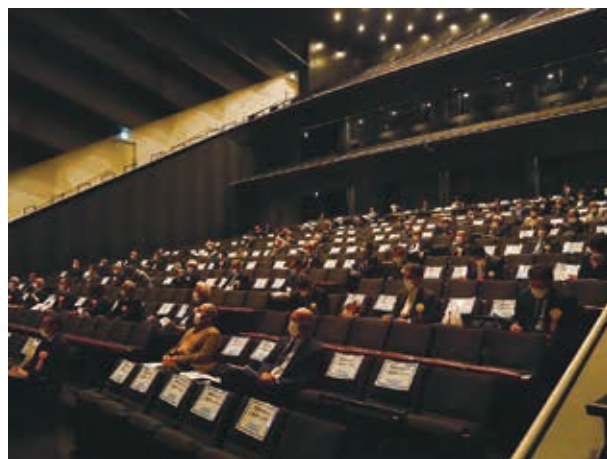
最後に決議文が朗読され、満場一致でこれを採択され、森田理事の閉会の辞により終了した。



会長挨拶



表彰の様子



総会の様子

ごあいさつ

埼玉県土地改良事業団体連合会
会長 三ツ林裕己

第66回通常総会の開催にあたり、一言ごあいさつを申し上げます。

まず、今回の総会につきましては、新型コロナウイルス感染防止対策が緩和され、2年続けて例年通りに開催することができました。しかし、感染者の数は減少いたしました。毎日多くの方が感染しております。引き続き、感染防止対策を講じながら、総会を進めてまいりますので、皆様の御理解、御協力をお願いいたします。このような中、本日で出席していただいた会員の皆様には、大変感謝申し上げます。また、日頃から本会の運営について、御指導をいただいております、関東農政局長 信夫隆生様、埼玉県農林部長 小畑幹様をはじめ、多くの御来賓の皆様には、年度末で公務御多用の中御臨席を賜り、心より感謝申し上げます。

さて国では、「食料・農業・農村基本計画」、「土地改良長期計画」、「みどりの食料システム戦略」の実現に向け、農地の大区画化・汎用化、農業水利施設の適時適切な補修・更新や省エネ化・再エネ利用等を行い、農業を魅力ある産業として担い手に引き継いでいくことが、極めて重要な課題としています。加えて全国各地でため池を含む農業水利施設等の老朽化が進行する中、近年、気候変動による豪雨災害や大規模地震が頻発しており、農村地域の防災・減災対策の推進も重要な課題としています。

来年度の農業農村整備事業関係予算の政府案は、令和4年度補正予算1,677億円と令和5年度当初予算4,457億円を合わせますと、6,134億円でございます。これも皆様方が県と連携し、農林水産省をはじめ、財務省、国会議員等に対して強力な要請活動を展開し、予算確保をお願いしていただいた結果と思っております。今後とも、会員の皆様とともに、埼玉県の農業農村の課題を国や国会に届けてまいります。

また、県予算につきましても、昨年10月に大野知事にお会いし、「大区画ほ場整備の推進」「農業水利施設の計画的な更新」「農業用ため池の防災、減災対策の推進」「農業集落排水施設の更新」など、関係予算の増額と農業農村整備の支援をお願いしております。

さて、第5次男女共同参画基本計画に続き土地改良長期計画においても、令和7年度までに、土地改良区の女性理事の割合を10%以上とすることが成果目標とされました。本会は、土地改良区に対して、男女共同参画の取組を促進、支援する立場から、模範を示すため女性理事2名を登用いたします。

本会では、国、県、全土連と連携して、市町村や土地改良区とともに、直面する多くの課題である、農業の競争力強化、農村地域の防災、減災対策及び土地改良区の体制強化を着実に進めてまいります。皆様の、益々の御協力をお願いいたします。

次に、本会の運営状況に触れさせていただきます。国の農業農村整備事業関係予算が確実に回復していることや、「農業集落排水施設」の最適整備構想策定、防災重点農業用ため池の耐震、豪雨及び劣化調査などの業務の増などにより、収入の柱である受託収入は少しずつ回復してきております。令和4年度は、受託事業費4億4千万円を確保することができました。この収入により、財政調整積立金6千万円を積むことができました。本会では、平成13年から経営改善に向けた「ボーナスのカット」、平成19年から「勧奨退職」と「早期希望退職」による人員削減を実施し、支出の縮減を図ってまいりました。受託収入の確保に努め、少しずつ収支バランスは改善しておりますが、依然厳しい状況に変わりはありません。今後も、受託収入をしっかり確保できますよう役職員一丸となってしっかり運営をしてまいります。皆様には現状を御理解いただき、本会の一層の活用について特段の御配慮をいただきますようお願い申し上げます。

本日はこの後、永年にわたり、本県農業農村整備事業の推進に御尽力された皆様の功績をたたえて、表彰状・感謝状を贈呈し、敬意と感謝の意を表したいと存じます。

本日、御審議いただきます議案は、令和3年度事業報告及び収支決算について、令和4年度収支補正予算について、埼玉県土地改良事業団体連合会定款の一部改正について、令和5年度事業計画及び収支予算について、令和5年度経費の賦課及び徴収方法並びに受託料の基準について、令和5年度役員報酬について、令和5年度一時借入金の限度額及び借入方法並びに余剰金、積立金の預入先について、役員の補欠選任について、でございます。慎重審議をお願いいたします。

農業・農村を取り巻く環境は、依然厳しい状況にありますが、皆様と共に埼玉農業の発展に貢献してまいる所存ですので、一層の御理解と御協力を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

結びにあたり、会員の益々の御発展と皆様の御健勝を祈念いたしましてあいさつといたします。

土地改良事業功労者表彰受賞者

< 順不同・敬称略 >

支 所	所 属	役 職	氏 名
さいたま	見沼代用水土地改良区	総務部長兼総務課長	八島 浩一
同	足立北部土地改良区	事務局長	有山 道春
同	馬宮土地改良区	前理事長	星野 和夫
川 越	狭山市環境経済部	次長	千葉 淳一
同	入間第二用水土地改良区	理事	齊藤 修司
東松山	高坂土地改良区	総括監事	松崎 初夫
同	西吉見南部土地改良区	副理事長兼庶務担当理事	鈴木 克己
秩 父	秩父市地域整備部道路維持課	主査	小西 雅也
本 庄	美児沢用水土地改良区	理事	神田 和雄
同	九郷阿保領用水土地改良区	副理事長	堀込 正義
大 里	荒川中部土地改良区	前監事	蛭川 竹正
同	豊里東部土地改良区	代表監事	飯野 稔
同	秦第二土地改良区	理事長	江利川俊一
加 須	元荒川上流土地改良区	環境係長兼管理係長	梶山 千恵
同	酒巻土地改良区	理事長	吉田勇次郎
同	新江川土地改良区	理事長	吉田孫兵衛
春日部	神扇落悪水路土地改良区	総括監事	藤沼 一博
同	元荒川土地改良区	所長	中村 章二
同	葛西用水路土地改良区	副理事長	林 成夫
同	葛西用水路土地改良区	参事	鈴木 紀之
同	八条用水路土地改良区	総括監事	加藤 芳隆

土地改良事業功労者感謝状受賞者

< 順不同・敬称略 >

所 属	役 職	氏 名
埼玉県農林部畜産安全課	総務・畜産企画担当主任専門員	石関 育雄
埼玉県農林部農村整備課	総務・土地改良団体支援担当主幹	石倉卯佐己
埼玉県東松山農林振興センター	農村整備部整備支援・管理担当部長	田端 勉
埼玉県東松山農林振興センター	農村整備部整備支援・管理担当課長	稲原 久史
埼玉県本庄農林振興センター	農村整備部長	宮崎 守
埼玉県本庄農林振興センター	農村整備部整備支援・管理担当部長	秋葉 一雄
埼玉県大里農林振興センター	農村整備部水利調整管理担当部長	上原 弘志
埼玉県大里農林振興センター	農村整備部水利調整管理担当主任専門員	野々垣公仁
埼玉県加須農林振興センター	農村整備部整備支援・管理担当部長	村田 博
埼玉県加須農林振興センター	農村整備部県営事業担当主任専門員	島田 宣行
埼玉県春日部農林振興センター	所長	林 淳一
埼玉県総合技術センター	主席工事検査員	鈴木 正
埼玉県土地改良事業団体連合会	事務局長	細井 清隆

土地改良事業推進協力感謝状受賞者

< 順不同・敬称略 >

支 所	所 属	役 職	氏 名
川 越	毛呂山町産業振興課	係長	木村 正樹
東松山	吉見町水生活課	課長	加藤 佳男
秩 父	秩父市吉田総合支所	副支所長兼課長	新井昭太郎
本 庄	美里町農林商工課	課長	丸山 保
大 里	大里用水土地改良区	課長	牛山 浩樹
加 須	青毛堀用悪水路土地改良区	所長	佐藤 候宣
春日部	庄和北部土地改良区	事務	石川 恵一

全国水土里ネット第65回通常総会

全国土地改良事業団体連合会（二階俊博会長）では、去る3月23日、東京都千代田区平河町「全国都市会館」において第65回通常総会が開催された。

附議された議案は、全土連定款の一部改正、令和4年度一般会計収入支出補正予算、同土地改良施設維持管理適正化事業防災減災機能等強化事業特別会計収入支出補正予算、令和5年度事業計画、同一般会計収入支出予算、同土地改良施設維持管理適正化事業防災減災機能等強化事業特別会計収入支出予算、同経費の賦課、役員の報酬、借入金、役員の選任等11件の議案を審議し、全会一致で原案のとおり承認可決された。

続いて、砂防会館別館「シェンバツハ・サボー」において「第64回全国土地改良功労者並びに農業農村整備優良地区コンクール等表彰式」が盛大に挙行された。なお、埼玉県内の表彰者は以下のとおりです。

全国土地改良功労者表彰

〈団体表彰〉

神鳥荻島土地改良区

〈個人表彰〉

松本	博行	氏	（吉見領土地改良区事務局長）
新井	昇	氏	（荒川中部土地改良区所長）
細井	清隆	氏	（埼玉県土地改良事業団体連合会事務局長）



二階会長と記念撮影（表彰式の様子）

令和4年度 第4回理事会及び第5回監事会

埼玉県土地改良事業団体連合会は、令和4年度第4回理事会を2月27日（月）本会大会議室において開催した。理事会は、新型コロナウイルス感染防止対策を講じたうえで、次の事項について審議され、全議案及び協議事項ともに原案どおり可決された。

【議 事】

- 議案第1号 令和4年度収支補正予算（案）について
- 議案第2号 埼玉県土地改良事業団体連合会定款の一部改正について
- 議案第3号 埼玉県土地改良事業団体連合会ハラスメントの防止に関する規程の新設について
- 議案第4号 令和5年度役員報酬（案）について
- 議案第5号 第66回通常総会の招集（案）について
- 議案第6号 第66回通常総会の提出議案について
- 議案第7号 土地改良事業功労者表彰、土地改良事業功労者感謝状及び土地改良事業推進協力感謝状受賞者の選考について
- 協議事項 決議（案）について

なお、報告事項として令和4年度収支状況、令和4年度第2回監査結果等が報告された。

また、当日理事会に先立ち、本年度第5回監事会が同所2階会議室において開催された。



理事会の様子

当会顧問会計士による会計相談会について

当会では、決算関係書類等に関する指導・助言を、会計の専門家と連携して行っています。

令和4年度からの貸借対照表作成の義務化に伴い、当会顧問会計士による個別相談会を実施いたします。この相談会に参加を希望される方は、下記お問合せ先まで事前にご予約ください。多数のご参加をお待ちしております。（オンラインでの相談も受付けております。）

場 所 埼玉県土地改良事業団体連合会
3階大会議室

日 程

第1回	令和5年5月18日（木）
第2回	6月19日（月）
第3回	7月5日（水）
第4回	8月7日（月）
第5回	9月5日（火）
第6回	10月5日（木）
第7回	11月7日（火）
第8回	12月8日（金）
第9回	令和6年1月12日（金）
第10回	2月8日（木）
第11回	2月28日（水）



お問い合わせ先

水土里ネットさいたま
総務部総務課
TEL 048 - 530 - 7335

令和4年度 換地計画実務研修会

3月16日（木）、大宮ソニックシティ（さいたま市）において、標記研修会が開催された。

当研修会は土地改良換地士及び換地事務を担当している県・市町村・土地改良区の役職員及び換地技術者等を対象に毎年実施しているもので、本年は19名の参加があった。

本年は外部から2名の講師を招き、中間管理関連や換地をめぐる諸情勢についてなどの研修をいただいた。中間管理事業の最新の内容や他県の事例等を共有でき、充実した講義となった。

講義の後、質疑応答の際には活発な意見交換がなされ、研修会は盛況裏に終了した。

研修内容

『中間管理関連について』 講師：埼玉県農林部農業ビジネス支援課 今井 峻平 氏

『換地をめぐる諸情勢について』 講師：全国土地改良事業団体連合会 中央換地センター所長 松尾 房雄 氏



講師：埼玉県農林部農業ビジネス支援課 今井峻平氏



講師：中央換地センター所長 松尾房雄氏

関東農地集団化推進協議会第70回通常総会

関東農地集団化推進協議会では、去る3月27日東京都・都道府県会館において第70回通常総会及び令和4年度農地集団化事業功労者に対する表彰式を開催した。

総会は、静岡県土連伊東会長代理仲田課長から挨拶があった後、来賓の全国土地改良事業団体連合会中央換地センター松尾房雄所長の挨拶を頂き、引き続き静岡県土連仲田課長を議長として議事に入った。第1号から第9号までの議案が可決された。

【議 事】

- 第1号議案 令和3年度事業報告について
- 第2号議案 令和3年度収支決算報告について
- 第3号議案 規約の改正（案）について
- 第4号議案 表彰規定の廃止について
- 第5号議案 令和5年度事業計画（案）について
- 第6号議案 令和5年度収支予算（案）について
- 第7号議案 令和5年度負担金及び納入期限（案）について
- 第8号議案 次期当番県（案）について
- 第9号議案 会長及び監事の選任（案）について
- 報告1 令和4年度事業の中間報告について
- 報告2 令和4年度収支の中間報告について

なお、次期当番県については茨城県に決定され、総会は終了した。

引き続き、換地及び交換分合の推進に貢献した団体の役員及び職員に送られる農地集団化事業功労者の表彰式が行われ、5名の方が受けられた。

最後に関東農政局土地改良管理課飯田博隆課長、中央換地センター松尾房雄所長の祝辞があり、盛会の内に閉会となった。（参加者28名）



天水利用の農業システムが日本農業遺産に認定されました

比企丘陵農業遺産推進協議会（熊谷市・東松山市・滑川町・嵐山町・小川町・吉見町・寄居町・JA埼玉中央・JAくまがや）が推進してきた「比企丘陵の天水を利用した谷津沼農業システム」が令和5年1月17日（火）、農林水産大臣より「日本農業遺産」として認定されました。

地理的に河川から水を得ることが難しい比企丘陵地域には谷津地形を活かして築かれた大小350を超える谷津沼（＝ため池）が築かれました。築造年代が明らかになっている沼はありませんが、古くは古墳時代、新しいものでも1600年頃までには完成していたようです。

谷頭部に築かれたため池。その下流域に広がる谷津田。これらに一滴のムダなく配水するために張り巡らされた水路。千年の歳月を費やして整備された「天水利用の農業システム」は先人たちの知恵と努力の結晶です。

全国的に「ため池かんがい」による農業は珍しいものではありませんが、その多くが雨の少ない地域のものです。これらの地域では技術の進展に伴い、農業用水の安定的な確保や効率的な利用のため、河川からの取水やため池同士の連携による広域システムへと変貌を遂げ、今なお「天水のみを水源とする」地域は稀有な存在です。

当比企丘陵地域では、今から400年前には完成していた「天水を水源とする谷津沼かんがい」のお陰で、今日まで河川からの引水を行うことなく農業用水の需要を賄っています。この度の認定は新たな挑戦へのスタートでもあります。比企丘陵地域における「天水を利用した農業」の魅力を広く発信するとともに、地域の誇りとして、今後もその維持・継承に努めていきます。



基本単位の「谷津」



典型的な谷津田の景観（国営武蔵丘陵森林公園上空）

県農村整備課関係人事異動

(令和5年4月1日付け)

※ () は前職または前所属

【農村整備課】

課 長 吉田有紀彦
(加須農林振興センター副所長)

副 課 長 塚本 晃司
(東松山農林振興センター担当部長)

主 幹 中嶋 範幸
(春日部農林振興センター部長)

主 幹 薮島 謙
(春日部農林振興センター担当部長)

主 幹 高橋さくら
(加須農林振興センター担当部長)

主 幹 三谷健太郎(朝霞県土整備事務所部長)

主 査 粕谷 幸代 (産業労働政策課主査)

主 査 上田 裕二
(春日部農林振興センター担当課長)

【さいたま農林振興センター】

所 長 田嶋 貴公 (農業政策課副課長)

担当課長 秋葉 一雄
(本庄農林振興センター担当部長)

【川越農林振興センター】

所 長 長谷川征慶 (生産振興課長)

副 所 長 中島淳一郎
(農業ビジネス支援課副課長)

担当課長 小川 博文(越谷児童相談所担当課長)

【東松山農林振興センター】

所 長 吉田 義彦
(農業技術研究センター室長)

担当部長 鈴木 岳人
(秩父農林振興センター担当課長)

担当部長 光石 和哉
(加須農林振興センター担当部長)

担当部長 井野 真人 (農村整備課主幹)

担当課長 鹿嶋 郁子
(西部環境管理事務所担当課長)

担当課長 宮下 香織
(東松山農林振興センター主任)

【秩父農林振興センター】

所 長 戸井田幸夫 (農業支援課長)

担当課長 平野 雅之
(大里農林振興センター担当課長)

担当課長 高山美代子
(大里農林振興センター担当課長)

【本庄農林振興センター】

所 長 吉岡 幸夫
(川越農林振興センター副所長)

農村整備部長 鈴木 経順 (農業政策課課付)

担当部長 浜名 徹
(大里農林振興センター担当部長)

【大里農林振興センター】

所 長 野口雄一郎
(東松山農林振興センター所長)

担当部長 松本 光雄
(東松山農林振興センター担当部長)

担当部長 飯島那河子
(大里農林振興センター担当課長)

担当部長 雨宮 克行 (農村整備課主幹)

担当課長 上原 弘志
(大里農林振興センター担当部長)

担当課長 田端 勉
(東松山農林振興センター担当部長)

担当課長 西川 武
(東松山農林振興センター担当課長)

【加須農林振興センター】

副 所 長 辻村 滋 (農村整備課副課長)

担当部長 齋藤 有紀
(加須農林振興センター担当課長)

担当部長 出口 朱輝
(春日部農林振興センター担当部長)

担当部長 森川 純子 (農村整備課主査)

担当課長 君嶋 克一
(大里農林振興センター担当課長)

【春日部農林振興センター】

所 長 木村 眞司 (農村整備課長)

担当部長 稲葉 誠
(秩父農林振興センター担当課長)

担当部長 吉田 秀樹
(大里農林振興センター担当部長)

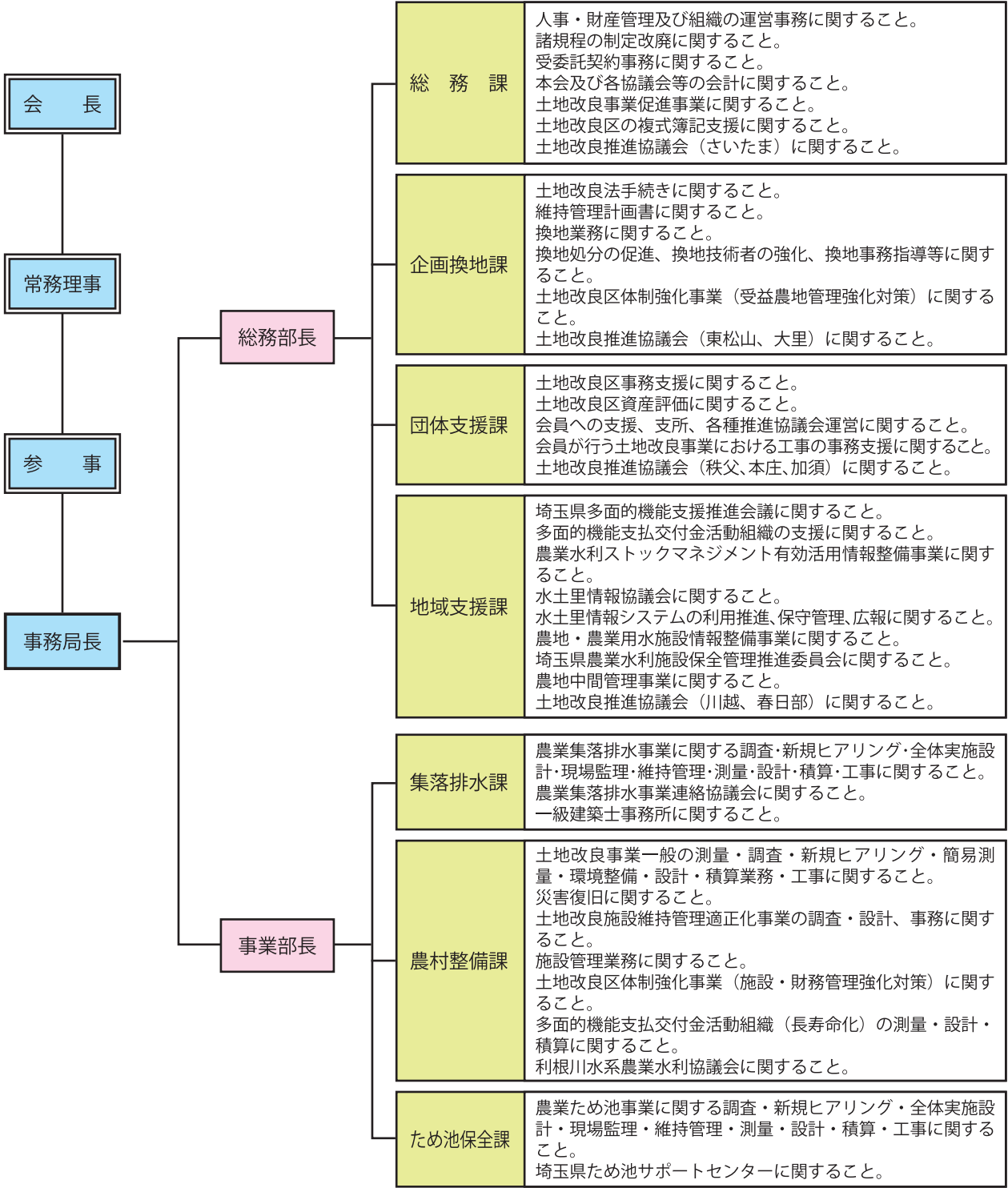
担当課長 長井 友紀
(さいたま農林振興センター担当課長)

令和5年度 本会組織図及び職員配置図

本会では、業務の効率化及び経営体強化を図るため、4月1日付で組織改正を行いました。会員の皆様に今後ともご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。

令和5年度の本会組織図及び職員配置図は、次のとおりです。

【組織図】



【職員配置図】

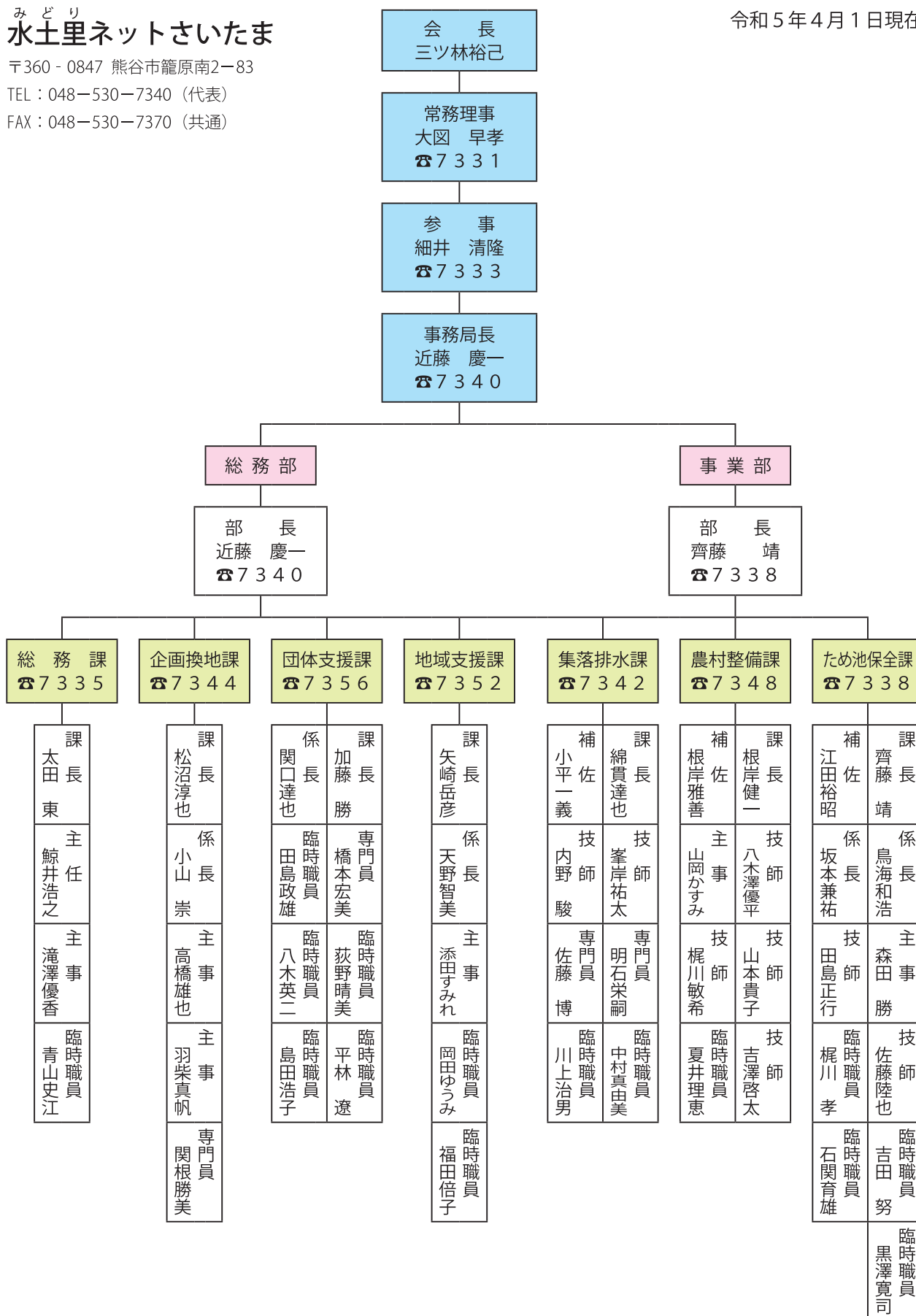
みどり
水土里ネットさいたま

〒360-0847 熊谷市籠原南2-83

TEL：048-530-7340（代表）

FAX：048-530-7370（共通）

令和5年4月1日現在



新規職員の紹介



事業部ため池保全課 佐藤 陸也

今年度4月より埼玉県土地改良事業団体連合会ため池保全課の技師となりました佐藤陸也です。

私は、大学で培ってきた農学や測量に関する知識と技術を役立てることができる仕事に就きたいと考えていました。入会して日は浅いですが、現場に赴いての作業、製図の作業など様々な経験をする機会に恵まれ、大きく成長することができる職場だと強く感じました。

知らないこと、わからないことだらけの自分が本会でやっていけるのかいまだに不安を抱えています。しかし、優しく丁寧に指導してくださる先輩方の姿を見て、安心感を覚えると同時に見習わなくてはと向上心が芽生えております。

未熟な部分ばかりでご迷惑をおかけしてしまうかと思いますが、早く仕事を覚えて活躍できるように精進いたします。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

農業基盤整備資金の金利改定について

4月19日付けの株式会社日本政策金融公庫及び沖縄振興開発金融公庫の農業基盤整備資金の金利改定について、下記のとおりお知らせします。

区 分	改 定 前					改 定 後				
	融資期間にかかわらず	融資期間別（一例）				融資期間にかかわらず	融資期間別（一例）			
		5年	10年	15年	20年		5年	10年	15年	20年
都道府県営補助残	1.15	—	—	—	—	0.85	—	—	—	—
団体営補助残	1.00	—	—	—	—	0.70	—	—	—	—
非補助一般	1.00	—	—	—	—	0.70	—	—	—	—
非補助利子軽減	1.00	—	—	—	—	0.70	—	—	—	—
災害復旧	—	0.55	0.55	0.85	1.00	—	0.45	0.45	0.65	0.70

お問合せ先 水土里ネットさいたま 事業部農村整備課担当 根岸 TEL 048-530-7348

第45回 全国土地改良大会福井大会

来たる10月11日（水）、福井県において、第45回全国土地改良大会福井大会が開催されます。

全国土地改良大会は、「農業・農村の重要性」とそれを支える「農業農村整備事業の役割」を広く国民にアピールして国の礎である農業・農村をさらに発展させるとともに、広く次世代へ引き継いでいくことを目的として開催され、農業農村整備に携わる全国の関係者が一堂に集う式典です。

日程は以下のとおりとなっています。

日 時 10月11日 水

開催地 ■大会式典・交歓会
「サンドーム福井」
福井県越前市瓜生町5-1-1

主 催 全国土地改良事業団体連合会
福井県土地改良事業団体連合会



連合会日誌

開催日	会議・行事	開催地
2月	1日 本会第2回監査・第4回監事会	熊谷市
	10日 都道府県土連ブロック代表事務責任者会議・都道府県土連事務責任者会議	東京都
	22日 さいたま水土里ネット女性の会通常総会・研修会	鴻巣市
	27日 本会第4回理事会及び第5回監事会	熊谷市
3月	1日 土地改良区理事、監事、職員並びに市町村担当職員等研修会	鴻巣市
	20日 本会第66回通常総会	鴻巣市
	23日 全国水土里ネット第65回通常総会及び表彰式	東京都
	31日 本会令和4年度仕事納め式	熊谷市
4月	3日 本会令和5年度仕事始め式	熊谷市

第11回 彩の国 農業・農村景観フォトコンテスト 作品募集

豊かな自然環境や美しい農村環境など、埼玉県内の農業、農村の魅力を伝える写真を募集する。

募集テーマ

『埼玉を彩る農業・農村の^{みどり}水土里』

募集期間

令和5年5月12日（金）～令和5年10月5日（木）

※当日消印有効

応募要領

埼玉県内の令和4年1月以降に撮影された未発表の作品で、応募者本人が撮影し使用权を含む著作権を有している単写真に限る。

■応募資格 どなたでも応募可能

■応募サイズ 四つ切りまたはA4サイズ

■撮影方法 デジタル・ネガフィルム ※画像加工不可

■応募数 1人3点以内

※同一作品の他の写真コンテストへ応募・入選作品は応募不可



各賞

水土里ネットさいたま会長賞	1点（表彰状、商品券3万円分）
さいたま土地改良推進協議会会長賞	1点（表彰状、商品券1万円分）
川越土地改良推進協議会会長賞	1点（表彰状、商品券1万円分）
東松山土地改良推進協議会会長賞	1点（表彰状、商品券1万円分）
秩父土地改良推進協議会会長賞	1点（表彰状、商品券1万円分）
本庄土地改良推進協議会会長賞	1点（表彰状、商品券1万円分）
大里土地改良推進協議会会長賞	1点（表彰状、商品券1万円分）
加須土地改良推進協議会会長賞	1点（表彰状、商品券1万円分）
春日部土地改良推進協議会会長賞	1点（表彰状、商品券1万円分）
審査員長特別賞	1点（表彰状、商品券5千円分）
学生優秀賞（18歳以下）	1点（表彰状、図書カード5千円分）

入選 10点以内

参加賞 応募者全員に粗品進呈

入賞作品発表・写真展

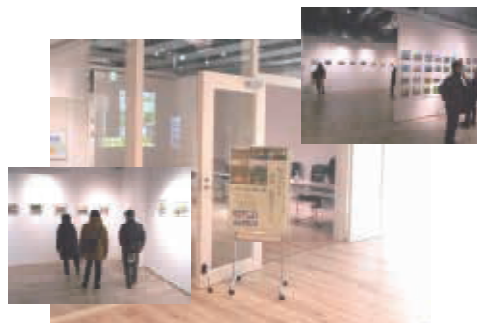
■12月中旬に入賞者本人に連絡および
本会ホームページ等で発表。■令和6年1月中旬に写真展予定。
詳細は本会ホームページ等で告知。

お問い合わせ先

埼玉県土地改良事業団体連合会
総務部 地域支援課

TEL：048(530)7352

URL：https://www.saidoren.or.jp



応募先

〒360-0847

埼玉県熊谷市籠原南二丁目83番地

埼玉県土地改良事業団体連合会

「彩の国 農業・農村景観フォトコンテスト係」



水土里ネットさいたま
埼玉県土地改良事業団体連合会

〒360-0847 熊谷市籠原南二丁目83番地
TEL 048(530)7340 FAX 048(530)7370

https://www.saidoren.or.jp/

